

認知症オレンジパートナーネットワークウェブサイト

神奈川県では、認知症サポーター等の個人の支援者、地域の支援団体、認知症カフェ等の活動拠点、企業や行政等が連携し、認知症の方やそのご家族が地域で安心して暮らしていくための支援を行う「認知症オレンジパートナーネットワーク」のウェブサイトを開発しています。

若年性認知症の方は、新たな就労先や様々な活動の場を探すことができます。

こんなことができます！

若年性認知症の方

- ・新たな就労先を探す。
- ・様々な活動の場を探す。

個人の支援者

- ・ボランティア活動に申込み。
- ・県の施策や認知症に関する情報等を受け取る。

地域の支援団体、活動拠点、企業、行政等

- ・若年性認知症の方へ向けた、就労支援、活動場所に係る募集情報を掲載する。
- ・ボランティア活動等の募集情報を掲載する。
- ・県の施策や認知症に関する情報等を受け取る。

オレンジパートナーネットワークウェブサイトを開発しています！



こんなことができます！

若年性認知症の方の就労先を探したい！

ボランティア活動をする場所を探したい！

色々な人と意見交換をしたい！



かががけネットワークと認知症の人と家族を支えるマーク



認知症オレンジパートナーネットワーク ウェブサイト
<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1393/orangepartner/index.html>



神奈川県
認知症の人と
家族を支えるマーク



ともに生きる社会
かながわ県

～誰もが安心して暮らすことのできる社会を目指して～
 ～誰もが安心して暮らすことのできる社会を目指して～
 ～誰もが安心して暮らすことのできる社会を目指して～

ともに生きる

お問合せ 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課高齢福祉グループ

電話 045-210-4846 (直通)

もしかして

若年性認知症??

記憶に不安を感じたら



若年性認知症とは

「若年性認知症」とは、65歳未満で発症した認知症のことです。若年性認知症の方は仕事、家事、子育て世代に発症することが多く、現役で働いている場合、若年性認知症を理由に退職してしまうと、経済的に困ってしまいます。しかし、退職前に若年性認知症支援コーディネーターに相談することで、仕事を継続できる可能性があります。

神奈川県の取組

神奈川県では、若年性認知症の人やその家族等の相談に対応し、支援に携わる者同士のネットワークの調整を行う、若年性認知症支援コーディネーターを配置しています。ご本人やご家族等からの若年性認知症に関する困り事や悩み事等の相談に対して、解決に向けた支援をします。

神奈川県内の若年性認知症支援コーディネーター相談先

※受診してなくても、相談することができます。

名称	担当エリア	電話番号
国立病院機構久里浜医療センター	横須賀・三浦	046-848-1550 (代表)
曾我病院 (福祉医療相談室)	相模原、湘南西部、県西	0465-42-1630 (代表)
湘南東部総合病院	湘南東部、県央	0467-83-9111 (代表) 0467-83-9091 (医療社会サービス部)
横浜ほうゆう病院 地域医療連携室 若年相談窓口	横浜	045-360-8787 (代表)
横浜市立大学附属病院 認知症疾患医療センター	横浜	045-787-2852 (直通)
横浜市総合保健医療センター 診療所 総合相談室	横浜	045-475-0105 (直通)
横浜総合病院 若年性認知症相談窓口	横浜	045-903-7106 (直通)
川崎市若年性認知症サポートデスク	川崎	044-400-7060 (直通)

若年性認知症支援コーディネーターの連絡先等詳細はこちら

神奈川県HP認知症の相談窓口



若年性認知症支援コーディネーターが様々な支援につなげます



雇用期間中（気づき、雇用継続が可能な時）

認知症を疑ったら・・・

まずは若年性認知症支援コーディネーターへ

- 医療機関受診
 - ・認知症サポート医
 - ・かかりつけ医
 - ・認知症疾患医療センター
- 相談窓口
 - ・若年性認知症支援コーディネーター
 - ・認知症コールセンター
 - ・認知症初期集中支援チーム
 - ・地域包括支援センター



受診をしていなくても、ご自身で不安を感じた時いつでも気軽に相談できます！



曾我病院
若年性認知症支援
コーディネーター

診断を受けたら・・・

今の仕事を継続したい！

- 就労継続を支援
 - ・障害者手帳
(身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳)



休業中の収入を補填したい！

- 経済的支援
 - ・自立支援医療 ・傷病手当金
 - ・障害年金 ・高額療養費
 - ・高額介護サービス費
 - ・高額医療・高額介護合算療養費制度



- 生活支援 ・日常生活自立支援事業 ・成年後見制度 ・学資支援等

退職後（収入減への対応、次の活躍場所）

元の職場を退職したら・・・

残っている支払いが不安・・・

- ・雇用保険 ・健康保険の加入
- ・年金保険料の免除
- ・住宅ローン ・生命保険



自分に合った仕事を探したい

- ・ハローワーク
- ・地域障害者職業センター
- ・障害者就業・生活支援センター



気軽に通える場所が欲しい

- 活躍できる場所
 - <障害者総合支援>
 - ・就労継続支援A・B型
 - ・行動援護等

- <介護保険サービス>
- ・デイサービス・デイケア
- ・ショートステイ
- ・施設入所

- <その他、インフォーマルサービス>
- ・家族（交流）会
- ・認知症カフェ・サロン



湘南東部総合病院
若年性認知症支援
コーディネーター

まずは若年性認知症支援コーディネーターに連絡しましょう
表紙の連絡先へ！



各種支援の詳細はこちらから

症状が進行してからも相談してください。状況に応じて丁寧な支援の提案をします。

会社など職場の方へ

次のような異変があるときは、若年性認知症の可能性があります。

- 作業に手間取ったりミスが目立つようになる。
- 指示されたことが理解できなくなる。
- お金の計算や漢字の読み方がわからなくなる。
- 身だしなみに無頓着になる。

一緒に働いている方の変化に気づいたら、相談してください！

職場の方でも若年性認知症支援コーディネーターに相談いただけます。

ご本人のためにも、職場のためにもまずはご連絡を！



久里浜医療センター
若年性認知症支援
コーディネーター

GrASP株式会社（横浜市）

GRASP aoba横浜北部、GRASP asahi横浜中西部

事業形態 2単位型認知症対応型通所介護

事業内容 コンセプトは、どのような容態であっても連続した切れ目のないサービス。

- ワーク：『シゴト』を通して社会貢献の機会を創出。
- エンジョイ：『イベント』を通して社会参加の機会を創出。
- ペーシック：『クラシ』を通して能力発揮の機会を創出。



● 利用者の声

当事者：仲間がいますし、生活のメリハリができて生活リズムが整うので利用しています。

● 若年性認知症の人・ご家族のみなさまへのメッセージ

弊社は若年性認知症の人とご家族、地域サポーター、そしてスタッフが、活躍の場、安心・安全の環境、コミュニティ等を共創しています。喜怒哀楽を仲間と共有しながら、愉快で豊かな日々をともに過ごしませんか。『ひとりじゃない』GRASPにはあなたを理解する方が、笑顔で迎えますから。

若年性認知症の方を支援している事業所

NPO法人シニアライフセラビー研究所（藤沢市） パン遊房亀吉、ボランティアステーション亀吉等

事業形態 就労継続支援B型、就労移行支援、地域密着型通所介護、共生型生活介護

事業内容 天然酵母・国産小麦を使い、ふるさと納税サイトのパン部門1位を獲得したパン工房や、できる人ができるときに、できることを行う働く場やボランティア活動の場があります。



● かながわオレンジ大使（認知症本人大使）からメッセージ

かながわオレンジ大使の望月省吾（通称：もっち）です。62歳で若年性認知症（アルツハイマー型）と診断されて、現在79歳（令和5年3月時点）認知症17年のベテランです。毎週木曜日に亀吉でマンドリン演奏のボランティアをしています。好きなマンドリンを演奏して、みなさんに喜んでもらえる。こんな幸せなことはありません。認知症なんて関係ありません。少しでも前を向くことを努力しましょう。私は100歳まで、この活動を続けたいと思います。

NPO法人マイWay（川崎市） マイWayサードプレイス

事業形態 就労継続支援B型、地域生活支援事業（日中一時支援）

事業内容 若年性認知症の方が、地域とのつながりの中で“はたらく、役割を持てる場”です。就労継続支援B型に加え、地域生活支援事業（日中一時支援）を開設することで移動支援も可能になりました。認知症とともに生きる方の「サードプレイス=自宅でも会社でもない、第3の居場所」として、これからも一緒に歩いていきます。



● メンバーさんからの声

認知症になってもわたしはわたし。やりたいことを、これからもやり続けたい。マイWayでの活動は自分を必要とされている。一緒に頑張れる仲間がいるって嬉しい。いろいろな人と出会うことで一緒に歩いていきたいな。外へ出ることの緊張感は大切だと思う。仕事を通じて自分たちのできる範囲で社会に貢献している。今充実してます！！